

シンポジウム「高齢者が安心して暮らせる健康コミュニティを目指して」のご案内

主催：日本学術会議 健康・生活科学委員会 高齢者の健康分科会
共催：日本老年学会

多くの高齢者は生活習慣病等に罹患している場合が多いが、それらを完治することは不可能である。生活習慣病の悪化を予防し、自立した日々の生活が実践できるように、在宅医療に関わる医療保健専門職が連携して予防的視点で高齢者を支援することが必要である。また生活の場の中で高齢者ケアを支援していくために、行政機関への働きかけを含めた社会システムのあり方、地域の特性を踏まえて医療介護福祉部門が協働する地域包括ケアシステムの構築が必要である。これらシステムの発展にはICTをどう活用するかも課題である。

そこで高齢者に関わる医療・社会・生活・福祉・情報をキーワードに関連する研究者が一同に会して、虚弱や疾病のある高齢者の療養生活を支え、QOL向上をめざすケア活動の推進により、健康な高齢者を含めて、すべての高齢者が健康で安心して生活できるコミュニティのあり方を討議したいと考える。

多くの関係者と意見交換できることを期待している。

挨拶：小西美智子 先生（日本学術会議連携会員 広島大学名誉教授）

司会：安村誠司 先生（日本学術会議連携会員 福島県立医科大学医学部教授）

市川哲雄 先生（日本学術会議連携会員 徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部教授）

1. 在宅医療の立場から : 飯島勝矢 先生（東京大学・高齢社会総合研究機構准教授）
2. 高齢者主体の介護予防のまちづくり : 植木章三 先生（東北文化学園大学大学院
健康社会システム研究科教授）
3. ICTを活用したコミュニティづくり : 直井道子 先生（日本学術会議連携会員
桜美林大学大学院老年学研究科特任教授）
小川晃子 先生（岩手県立大学社会福祉学部教授）
4. 地域包括ケアの推進を目指して : 中野いく子 先生（日本学術会議連携会員
桜美林大学 加齢・発達研究所客員研究員）

総括：安村誠司 先生（日本学術会議連携会員 福島県立医科大学医学部教授）

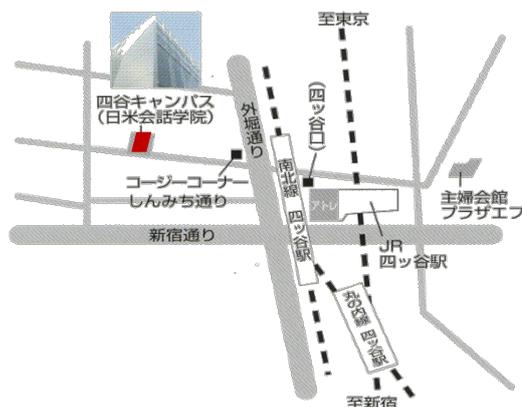
開催日時：平成26年7月5日（土）13時～16時

開催場所：桜美林大学大学院 四谷キャンパス B1
東京都新宿区四ツ谷1-2-1

定員：90名（先着順）

申し込み方法：別紙「申込書」に必要事項を
記入し、日本老年学会まで
FAXで申し込んでください。

申し込み締め切り：平成26年6月30日（木）



(別紙)

シンポジウム「高齢者が安心して暮らせる健康コミュニティを目指して」

申 込 書

日本老年学会 事務局

FAX : 03-3814-8604

ご氏名 :

所属名 :

連絡先 :

F A X :

メールアドレス :

【注意事項】

- (1) 申込者 1 名ごとに申込用紙 1 枚を作成して、ファックス送信してください
(一枚の用紙に複数名が記載されている場合は受付できません)。
- (2) FAX 番号 (03-3814-8604) を間違えないように送信して下さい。